

株式会社 ITS MORE

2020年4月設立

ITS more

2020年9月27日 投稿者: SATOXITS

GShell 0.5.3 – WWWirtualデスクトップ

社長：今日は仮想デスクトップを作りたいです。

開発：いきなり最終目的地ですか。

社長：そろそろモックアップを作るくらいの素材はそろったかなと。目的地の景色を描いてみたい。

基盤：今のタイトルは「そうだ、1Noteを作ろう」になってますが。

社長：寝る前に、今日はそれで行こうと思って、メモして置いたんです。

開発：OneNote のHTML版ですかね。

基盤：名前は WanNote とか、WAN-Note とかがいいんじゃないですけどね。中国語で王帳とか汎帳とか。

社長：検討しましょう。それはともかく、わたしは当時 Office 365 で色々面白いWebアプリを見たのですが、中でも超絶面白かったのは OneNote だったわけです。で、あれの簡易版ならHTMLとJavaScriptだけで出来そうだと思います。

開発：まあ実際、ウェブ版OneNoteはそうして実現してるわけですね。

社長：で、共有はDOM - HTMLの保存回復機能で、同時編集は WebSocket 上で MessageEvent でDOMのオブジェクトを飛ばしてやれば良いと思います。DOMをシンクロさせる。

開発：できそうです。

社長：でもせっかくだから、ぺたぺた貼り付けるのはパッシブなノートじゃなくてアクティブなウィンドウのほうが面白いかなと。

開発：iframe ですね。

社長：Firefox の回復異常の結果、フレームの中で GShell のバナーが流れているのを見て、強くそう思いました。で、これって要するにデスクトップだと思ったのです。

開発：まあ制御できるアプリがウェブ窓に限られますけど、結構使えるものができるような気がします。

基盤：たまねぎ化して管理できるとありがたいです。

開発：階層的に管理できるデスクトップは是非欲しいです。

基盤：脱Mission Controlですね。

社長：で、これはいずれにしても仮想的なデスクトップですから、バーチャルなんですが、virtual という単語が vi で始まっていることに思い当たりました。なのでこれを目立たせたい。vi-rtual desktop とかどうだろうか。

基盤：Moz://a みたいに、V:rtual でも良いかもですね。

社長：検討しましょう。

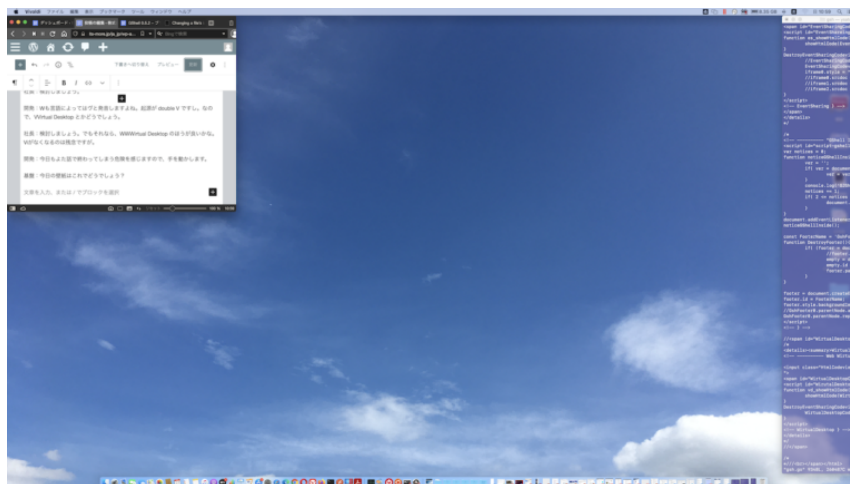
開発：Wも言語によってはヴと発音しますよね。起源が double V ですし。なので、VVirtual Desktop とかどうでしょう。

社長：検討しましょう。でもそれなら、WWWirtual Desktop のほうが良いかな。Viがなくなるのは残念ですが。省略系は Wirtual Desktop、WD。

基盤：ウェスタンデジタルみたいですね。

開発：今日もよた話に熱中して終わってしまう危険を感じます。手を動かしましょう。

基盤：本日の壁紙はこれでどうでしょう？Azuma3のほんとうの空。



開発：賛成。

社長：やはりほんとうの空の写真は良いですね。

壁紙

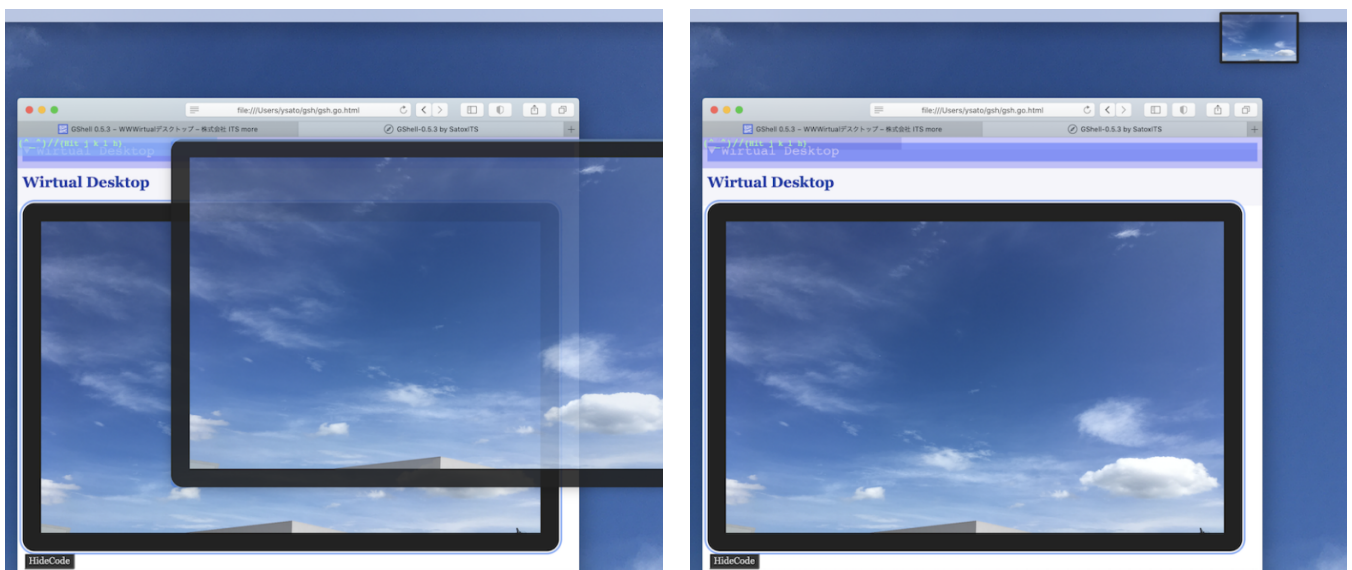
開発：やはりデスクトップの壁紙は重要だと再認識しました。ではまず、Virtual Desktopに壁紙を貼りましょう。こんな感じですかね。



社長：黒枠にRetinaとかトリニトロンとか書きたいですね。

基盤：画面の下にシルバーの枠が無いですね。

開発：draggableにしてあるので持ち出し可能です。



社長：メニューバーにドロップしたら新しい仮想デスクトップにフルスクリーンで開くと良いですね。

基盤：ブラウザからブラウザへのコピーはこれでやれると良いですね。

社長：ルーペも作りたいですね。

開発：次はランチャーというか、メニューバーを。

社長：ちょっと待った。お腹がすいたので何か食べましょう。

開発：最近ブームのレトルトカレーにしましょう。

基盤：この美濃焼の丼は、アマゾンに載ってた写真そのままですね。以上でも以下でも無い。はふ。

社長：やはり内側は良いのに外側がさみしい。はふはふ。

開発：糸ジリが大きいこともあってか、さわって熱く無いですね。はふ。

社長：レトルトカレー用にはもうひとまわり小さいと良いですね。ごちそうさま。

基盤：カレーの後だし、紅茶でも。

社長：やはり、リアルワールドに永くあるものに似せることは重要ですね。わかりやすさが全く違う。

基盤：テレビっぽいので模擬リモコンもあると良いかもですね。

飛び出すウィンドウ

開発：さて、それではランチャーを。

社長：ちょっと待った。モックアップだし、見た目をもうちょっとやりましょう。このWirtual Desktopに親ページを映してみたいです。

開発：そうですか。

* * *

開発：なぜかiframeのスタイルが設定できなくて不調です。

社長：自分でsrcdocの中身を作る場合と違って、srcの場合は制約が強いんじゃないでしょうかね。

開発：今のところ、とりあえず、こんな感じで。

社長、基盤：おおーっ。

▼ Virtual Desktop

GShell Virtual Desktop

エアコン復活の日
2020年8月6日

scpを驚速化するソフトの開発に成功
2020年8月5日

2020年8月1日

はじめの自作NFSサーバ
2020年8月3日

世の中の全てをファイルとして見る
2020年8月3日

脱冷房宣言
2020年8月2日

そらだ、スケジュールを作るう
2020年8月1日

Parallels Desktop祭り
2020年8月1日

全く新しいアーカイブフォーマット
2020年7月31日

ブラウザユニオン
2020年7月30日

ブラウザシェル
2020年7月29日

ブラウザスクリプト
2020年7月28日

2020年7月27日

毎日健康診断
2020年7月26日

孟母三遷
2020年7月25日

```

HideCode
<div id="VirtualDesktop_1" class="VirtualDesktop" draggable="true" contented
<iframe id="VirtualBrowser_1" class="VirtualBrowser" draggable="true" src="h
</div>
<input class="HtmlCodeviewButton" type="button" value="ShowCode" onclick="
<textarea id="VirtualDesktopCodeview" class="HtmlCodeviewText" spellcheck=

```

開発：外側がVirtual Desktopなので、内側もVirtual Browserと呼ぶことにします。

基盤：これはやはり、ディスプレイの下に足というか台が欲しいですね。

社長：電源スイッチとパイロットランプなんかもあると良いですね。

基盤：明るさ調整スライダーとかも。

開発：ウィンドウにつきましては、最大、最小の他に、通常の大、中、小、を設定できるようにしたいと思います。

社長：背景をいずらしたらり拡大縮小して動画みたいにみせると面白いかもですね。

基盤：フチの部分にてかりとか反射の質感があると良いかもですね。

開発：「親」を自分に映しているのですが、Virtual Desktop の中の Virtual Browser にその情報を渡していないので、無限に再帰はしていません。なので、画像でうめ草を。



(^_^)//{Hit j k l h}

基盤：おー、それっぽいですね。

開発：ここで、リアルなスクリーンでは絶対できない技を一つ。



開発：はみだしの術！

基盤：飛び出す絵本。

開発：思うに、ここってまあじゃん放浪記入ってますよね。

社長：もともとそういう意識です。

デスクトップたまねぎ

社長：この仮想デスクトップ自体はiframeでは無いということですね。

開発：今は単なるdivですが、そこはとうとうでも。とにかく、内容物の通信基地と座表起点ではあるけれど、位置的な縛りは緩いという感じの造りにしたいと思います。

社長：ポストイットモデルですね。

基盤：普通のアプリって自分のウィンドウに閉じ込められてるのが悲しいですね。外に広大なデスクトップがあっても。

社長：デスクトップとブラウザという別の階層を作る必要はあるでしょうか？

開発：なくても良い気はします。全部が仮想デスクトップ、あるいは何でもブラウザでも。たぶん何でもデスクトップとしておいて、一つのURLの表示だけに特化された、つまり子フレームが一つしかなくて内部全画面表示の状態が、ブラウザ「状態」、というのが良いのではないかと。動的に遷移できる。クラスとして分けられない方が良いでしょう。

社長：要するにDOMのwindowというクラスそのものですね。

開発：まあ、windowのデフォルトのdocumentが第0 iframeだという風にできていれば、まったくそのままですね。

基盤：たまねぎデスクトップですね。

社長：デスクトップオニオンという名前にしようかしら。

基盤：この仮想デスクトップはresizableなので、一つで広大なデスクトップもできるわけですね。100万 x 100万ピクセルとか。

社長：Pointillismで見た夢が実現しそうです。

開発：あとは、ウィンドウのメンツやサイズや位置を決めたら、現在のDOMをHTMLとして保存して、後で呼び出せるようにしておけば、カスタマイズ出来るデスクトップということになると思います。

社長：ちょっと休みましょう。忘れないうちに、WirtualDesktop、ドメイン登録して置きます。

	.com	.net	.inc	.jp	.work	.xyz	.tokyo	.site	.info	.shop	.org
ご希望のドメイン	240円~	140円~	97,900円	1,060円~	1円~	25円	50円	60円	260円	199円	1,360円
wirtualdesktop	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Google search results for 'wirtualdesktop'. The search bar shows 'wirtualdesktop' and the search button is active. Below the search bar, there are filters for 'すべて' (All), '地図' (Maps), '動画' (Videos), '画像' (Images), 'ショッピング' (Shopping), and 'もっと見る' (See more). The search results show 5 items in 0.21 seconds. The first result is 'もしかして: [wirtual desktop](#)'.

基盤：WWVirtual じゃないんですか？

社長：やはりかったるいような。

* * *

開発：ふうう。なんだかどっと疲れました。Wirtual Desktopの現状です。今日はこのへんで店じまいかなと。



社長：ブラウザの互換性の問題が色々出てきましたね。

開発：一つのブラウザでだけやってたら、ハマるところでした。

社長：Firefox も Safari も独自路線でやってて何の意味があるのと思ってましたが、開発する立場から見るととても有益ですね。

開発：利用する側から見た仕様はともかく、基盤の実装が複数あるのは助かります。

社長：ウェブ技術は今も生々しく発展中って感じがしますね。

-- 2020-0927 SatoxITS

[GShell-0.5.3---WWVirtualデスクトップ---株式会社-ITS-more](#) [ダウンロード](#)

[gsh-0.5.3.go](#) [ダウンロード](#)

/**/

GShell version 0.5.3 // 2020-09-27 // SatoxITS



GShell // a General purpose Shell built on the top of Golang

It is a shell for myself, by myself, of myself. --SatoxITS(^-^)

[Edit](#) [Save](#) [Load](#) [Vers 0](#) [Fork](#) [Stop](#) [Unfold](#) [Digest](#) [Source](#)

/ /

> Statement

/ /

> Features

/ /

> Index

*/ //

> Go Source

//

> Considerations

// /*

> References

/ /

> Raw Source

/ /



/ /

> GJ Console

/ /

> Form Auto. Filling

/ /

> BlinderText

/ / */ // //

> Golang / JavaScript Link

/*

> GJ Link

/ / */ /*

> Live HTML Snapshot

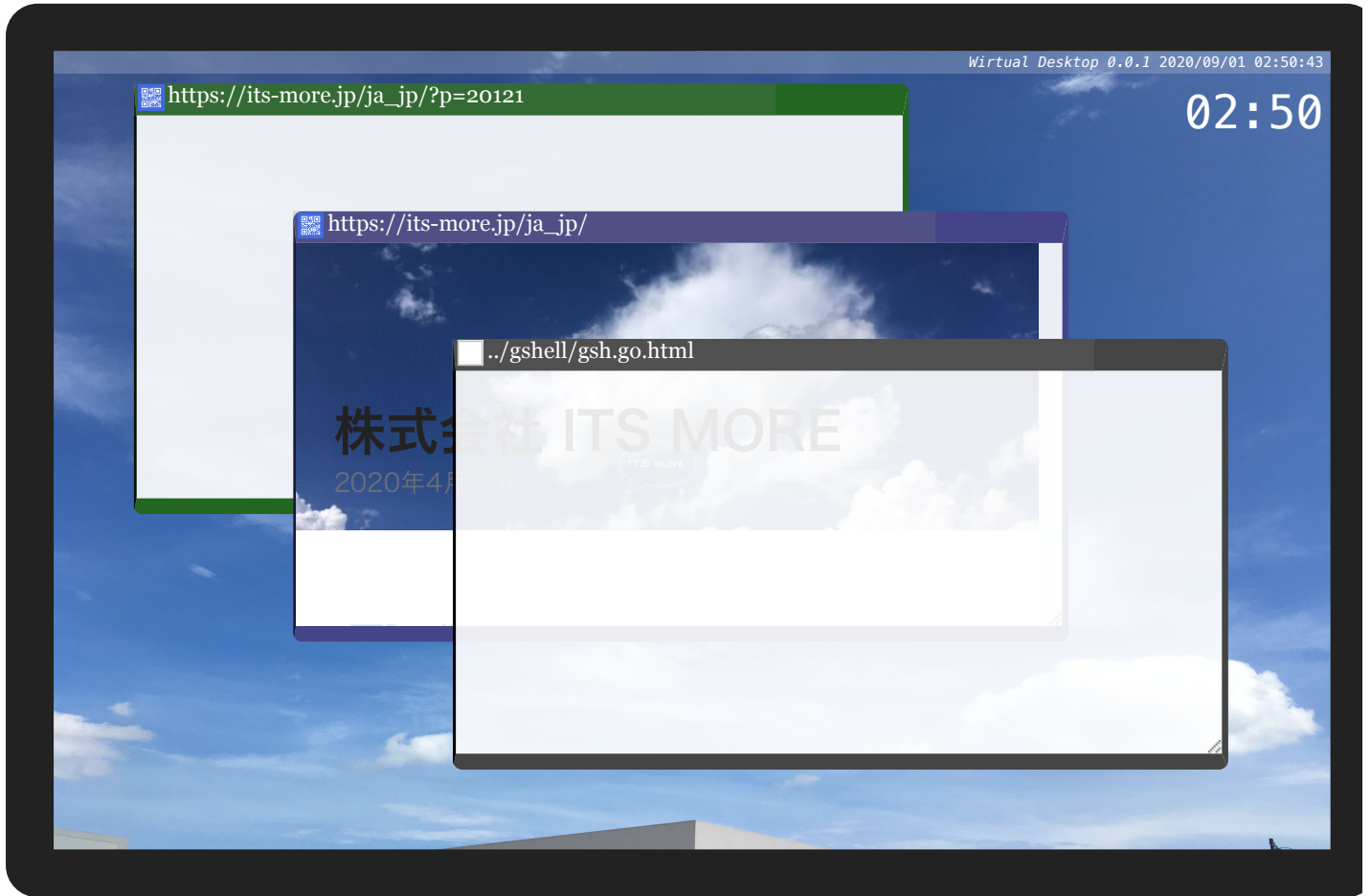
/ /

> Event sharing

/ / // /*

▼ Wirtual Desktop

Wirtual Desktop



*| /| /| *| /|